

発行者 楽しい株式会社

住 所 北九州市若松区向洋町 10 番 1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2008年5月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

洞爺湖サミットのCERES安全な竹割り箸 &



国産 CERES安全な竹塗り箸

メリーズシステムの循環の仕組みで、使用済み竹割り箸のリサイクル竹炭から始まり、安全・安心の竹割り箸を生産して5年。そして、販売から4年目を迎えた竹塗り箸は、完全国産で、洗って繰り返し使えるので採用して頂く飲食店様も、沢山増えました。コストの問題から中国で生産している CERES (セレス) 安全な竹割り箸は、日本国産の安全なミネラルのみで抗菌を行い、管理された工場の中に委託生産しております。今年3月に訪問した、中国のホットな生産現場を公開いたします。

竹割り箸は、どうして中国産？

竹割り箸を日本で作ると、中国産に比べて販売価格が3倍以上になり、とうとう3年前に、最後の国産竹割り箸会社も生産を終了しました。現在、日本で竹割り箸を生産する会社は全て無くなりました。しかし、当社で取り扱う塗り箸(みのり箸)は、竹も加工も100%完全国産品です。

竹割り箸の製造工程

ほとんどが1回で使い捨てになる割り箸。しかし、意外と手間がかかっています。切り出した生竹を工場まで運び、3から5種類の機械を経由して、3回の乾燥工程や、磨きの工程を経由し、製品になります。



衛生管理された場所で3回も検品

1本の割り箸が日本に輸入されるまで、1本1本を3回も別々の人の目で検品し、様々な問題のため、30~50%は不良品(中国国内で流通します)になります。検品場所は、衛生管理されています。



他社の防カビ加工と、CERES の工程

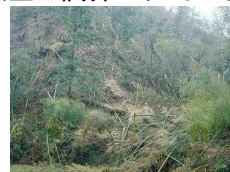
CERES(セレス)の竹割り箸は、一般的に用いられる「二酸化硫黄」や「亜硫酸塩類」による有害な防カビ、漂白処理は、一切行わず、日本国産の安全なミネラルのみで抗菌し、安全・安心にこだわった竹割り箸です。漂白しないので色のばらつきがあり、この問題の解消のため製品化し、圧力窯で炭化処理した「あめ色の竹割り箸」も大変好評です。この「あめ色竹割り箸(炭化竹割り箸)」は、洞爺湖サミットでも40万膳使用されます。



(ピロ亜硫酸ナトリウム(左)と その水溶液(右))

2008年1月、2月の大雪

今年1月から2月初旬にかけて、竹の主な生産地である中国南部に50年振りの大雪が降り、雪の重さで屋根が落ちたり、写真のように竹が折れたりする被害がありました。中国では旧正月(今年は2月7日)に故郷で家族と一緒に過ごす習慣がありますが、交通マヒのため駅に取り残された方もいました。雪害被害総額は、なんと1兆円以上と試算されています。



今後の割り箸

2008年の割り箸は、中国政府の割り箸輸出禁止政策や、今年2月の雪害のため竹が折れて、供給量が大変不安定になることが予想されます。そのため当社は、1回しか使わない割り箸に代え、塗り箸(みのり箸)をお勧めしています。2年間据え置いてきた CERES 竹割り箸価格も、円高期間は、現状価格にて供給をさせていただきますが、今後以下の要因の為、販売価格の値上げをせざるを得ない状況になるかもしれません。

[価格高騰要因]

- ・ 中国人民元切り上げ ・ (中国)人件費高騰
- ・ 石油高騰(国内国際輸送) ・ (中国)税金施策変更
- ・ 竹資源不足(特に今年の雪害)

メリーズシステム見える化ツアーのお知らせ

[第4回] 5月13日(火曜日)開催

毎回、大変好評の「メリーズシステムリサイクルセンター」と、連携先「下郷農協様」を周る、メリーズシステム見える化ツアーを開催いたします。

最近「食の安全」が問われていますが、下郷農協様の有機無農薬野菜を、メリーズシステムの事業所様に提供しております。

この機会に、生産現場をご自分で確かめ、ご検討されては如何でしょうか？

詳細は、当社の営業担当までお問合せ下さい。

TEL 093-752-5300



ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。URL: www.fun-c.jp/ (松尾隆貴が担当しました。)